

第6回公開講座（看護学部）を実施

2月5日、看護学部による公開講座を実施しました。今回のテーマは『看護の技をご一緒に ～身近な人を寝たきりにしない技』。まず、野村明美教授が、寝たきりになる原因、平均寿命と健康寿命の差、寝たきりに「しない」「ならない」ことが重要な理由などを紹介し、「寝たきりから脱出する方法は、子どもの発達動作から学ぶこと」との説明がありました。その後、3人一組のグループに分かれて、ベッドで体の位置や向きを変える支援の方法などの演習を行いました。それぞれ活発に意見交換しながら取り組んでいて、どの家庭でも「寝たきり予防」が大きな関心事になっていることを伺うことができました。



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学